

第 162 号



あおもり 町連だより

平成14年6月発行
青森市町会連合会
TEL 017(734)2584

会長に佐藤久雄氏を再選

十四年度
定時総会
事業計画案など承認

青森市町会連合会は平成十四年度定時総会を四月二十六日(金)午後一時から、青森市文化会館で開催しました。

山口精一・常任理事の司会で桜田秀雄・副会長が開会を通告し、物故者会員に黙祷をささげたのに次いで、佐藤久雄・会長があいさつ(2面に掲載)を行いました。このあと、長年町会運営に貢献された方々を顕彰、受賞者を代表して佐々木眞一・伝馬町会長が謝辞を述べました。

引き続き佐々木誠造・市長、木村巖・市議会議長、八木澤勉・青森警察署長(代理)が来賓祝辞を述べました。

また、加川光義・中央富田町会長を議長に選出して議事に入り、平成十三年度事業・決算・監査の各報告、十四年度事業計画・予算案を審議し、八議案とも原案通り満場一致で可決しました。

各議案の審議のあと役員選出に入り、次の方々が満場一致で選出されました。

▽会長 佐藤久雄(奥野第一町会長・再)

▽副会長 里村誠吉(相馬町会長・再)、新谷峰三(上三上町会長・再)

再、太田巖(すみれ町会長・再)、桜田秀雄(ひばりの町会長・再)、笹井康三(松原町会長・再)



表彰への謝辞を述べる受賞者代表

▽常任理事 田中幸蔵(佃本町第一町会長・新)、阿部正男(出町町会長・再)、山口精一(やはぎ町会長・再)、斉藤栄三郎(瀬戸子町会長・再)、今貞一(古川三丁目第一町会長・新)、横山文枝(女性部会・再)

▽監事 有馬俊悦(八雲町会長・新)、白鳥豊信(荒川第二区町会長・新)、窪田栄一(油川茶屋町町会長・再)

町会活動の活性化支援 雪処理の施策にも協力

十四年度事業計画

〔基本方針〕

青森市民憲章の主旨を尊重して、市民福祉の向上を図る。

一、健やかで、あたたかい町づくりの推進

一、環境美化運動の活性化推進

一、心豊かな活力に満ちた市民運動の推進

〔重点目標〕

◎町会活動の活性化の推進

◎青少年健全育成に協力

◎市の雪処理施策の推進に協力

◎交通事故防止・防犯運動の推進

◎資源ごみ分別収集の定着化

◎冠婚葬祭合理化運動の促進

◎男女共同参画施策に協力

〔総務部会〕

地域協議会・地区連合町会、単位町会の活性化支援を重点目標として取り上げ、新任町会長・理事・部会員研修に加え、新たに全町会長研修を行うほか、ユニークな活動をしている町会事業を「町連だより」来年一月号に紹介し、コミュニティ活動の活性化を支援する。

また青函及び他団体との交流推進、市政懇談会及び市民と市長の懇談サロンを開き、市民参加のまちづくりを推進しながら、青少年の健全育成への協力を進める。(2面へ続く)

「建設部会」

街路灯は、昨年四月から市の全面維持管理となったが、新設要望に対し、設置が低い割合となっているため、市への要望を強めることとし、街路灯維持管理の円滑化推進に取り組む。また、万一の災害に備え、町会での組織化を含めた自主防災活動事業を推進するとともに、雪処理事

佐藤会長 あいさつ



近年、私どもの地域社会をとり巻く環境は少子・高齢化の進展など社会、経済情勢の変化により、住民のニーズ及び価値観が多様化してきております。

その中でも昨年から始まった「こみの分別収集」につきましては、各町会長さんが大変なご苦労をなされていることに対し、心から敬意を表します。また、昨年は長年の懸案でありました街路灯を市長さんの大英断により全額市費負担が実現できましたことに対し、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、平成十四年度の町会連合会の事業運営につきまして、私の基本的

業の充実促進、道路側溝、下水道の整備促進について意見の集約を図り、市に強く要請する。

「交通安全防犯部会」

交通安全・事故防止のためのシートベルト、チャイルドシート、ヘルメットの着用の呼びかけや環境整備に向け、危険箇所調査を行い、市及び関係機関へ改善要望するとともに

考え方を述べたいと思います。

時代の進展とともに、町会活動も多種多様な展開が求められ、町会長の業務も年々多忙になってきております。

一方では、町会長の高齢化も進んでおります。こうした状況を踏まえ、町会活動の活性化を支援することが町会連合会の役割であると考え、次の三つの基本方針を掲げ、実践する

ユニークな町会活動も紹介

三つの基本方針を示す

ことになりました。

一つは、町会長の活動中の万一の事故に備え、補償制度をつくって参りたいと考えております。

二つ目は、全町会長に対し、研修の機会を設けることあります。これまで新任町会長研修は毎年度実施してありますが、全町会長に対して

連絡強調を進めて市民運動を展開し、優良町会を表彰して交通安全意識の高揚を図る。

「環境衛生部会」

資源ごみ分別収集、リサイクル運動を推進し、ごみ収集場所に環境協力員の配置と巡回指導を行い、コンポスト(生ごみ自家処理器)利用を促進する。また市民一掃き運動はじ

の研修はありませんでした。地域協議会の活性化を念頭においた研修会を実施して参りたいと考えております。

三つ目は、現在各町会で様々な活動をしてありますが、この中でユニークな活動をしている町会の事業内容を、来年一月の「町連だより」のページを増やして全町会に紹介し、町会活動の活性化につなげたいと考えております。

まずやれるものから始めたいと考えておりますので、皆様のご協力をいただきながら、これらの事業に取り組んで参りたいと思います。

また、平成十五年度に青森市町会連合会が創立五十周年を迎えますが、私が委員長となり、記念事業実行委員会を設置し、準備に入ったところであり。皆様のご協力をお願いいたします。

め環境整備と美化を推進し、優良町会を表彰して市民のモラル向上を図る。

「福祉部会」

冠婚葬祭合理化運動の推進を最重点目標としてチラシを每户回覧し、住民の協力を求めるほか、保健事業及び介護保険制度への協力を進める。

「女性部会」

本年十月に開催される「日本女性会議二〇〇二あもり」の成功に向けて協力するなど、男女共同参画施策への積極参加と町内女性の集いを開いて女性部組織の結成を促進する。また生涯学習活動を推進しながら、環境美化運動や健康診査受診を推進する。

傷害保険加入を契約

全町会長を対象に

平成十四年度から始めた全町会長に対する傷害保険加入契約を、安田火災海上保険会社と四月三十日に行いました。加入者数は三百七十三人で、町会長代行六人が含まれていません。補償期間は平成十四年五月一日から十五年四月三十日までの一年間です。

町会長の業務が年々多忙になっていくことや高齢化が進んでいることから、安心して町会活動ができるよう、活動中の万一の事故に備え、市町会連合会が契約者となって加入したものです。

東部6区 連合町会

コミュニティ活動浸透

懇談サロンで市長が評価

平成十三年度第四回の「市民と市長の懇談サロン」は一月十九日、青森市健康増進センター・元氣プラザで東部第六区連合町会を対象に開かれ、九十五人が出席し、「コミュニティ活動中心のまちづくり」をテーマに活発に話し合いました。

同連合町会が福祉館の改築、除雪協力者への助成など十一項目の要望書を提出したあと、佐々木誠造市長がいさつに立ち、市の施策と現状を幅広く紹介。次いで「この地区はいろんなコミュニティ活動が非常に浸透し、活発にやられていることに敬意を表します」と述べ、出席者から次々意見が出されました。テーマのほか、街灯の明るさの問



懇談サロンで活発な話し合い

題、融・流雪溝の建設、校庭の雪捨て場利用など自由意見も多岐にわたって出され、市の各部長がそれぞれに対応したあと、市長が総合的な対応・施策を示しました。

市長はの中で、「これだけコミュニティ活動を熱心になさっている地区ですから、ヘルスプロモーションのモデル地区になってみようというのであれば、早速指定させていたきたい」と締めくくりました。

地域コミュニティ事業 十三年度は96町会実施

平成十三年度に「青森市地域コミュニティ活性化補助金」を受けて事業を行った町会は、延べ九十六町会（補助金七百七十万九千円）となりました。

事業内容では、スポーツ大会、レクリエーション活動などの健康づくりに関する事業が六十七町会で最も多く、次いで花壇づくりや緑化などが十五町会、資源ごみ分別・リサイクル事業が八町会、清掃活動事業が四町会、自主防災活動事業が二町会となっています。

地域コミュニティ事業に取り組んだ町会は、平成十二年度の八十五町会から十一町会増えましたが、今後

もより多くの町会が市補助制度を活用し、コミュニティ活性化に取り組まれるよう望んでいます。

ごみ収集日変更で 事前説明申し入れ

佐藤 会長

四月からガラスびんが資源ごみとして分別収集されていますが、市のごみ収集体制見直しにより、百六十八町会で収集日変更されました。これに先立って、町会連合会の佐藤久雄会長は三月一日、市清掃事業所長に関係町会への事前説明を十分行うよう申し入れました。

昨年四月に始まった資源ごみ分別収集で、各町会が分別ルールが守られるよう、環境協力員の配置など町会員の協力のもとで、住民の指導を行ってきました。しかし、一部住民に収集日の間違いや分別ルールが守られていないなど問題があるもの、せっかくなれ、ある程度軌道に乗ってきた矢先の収集日変更のため、関係町会に十分説明し、理解と協力が得られるよう申し入れたものです。これに対して、市清掃事業所長は、今回は時間的に難しいので、今後は町会連合会と関係町会に事前説明を行ったうえで実施したいとの回答がありました。

事業部会の部会長 と副部会長決まる

五月九日(木)開催の第二回常任理

事会で、平成十四年度と十五年度の二年間担当する事業部会の部会長と副部会長が次のとおり決まりました。

◇部会長	◇副部会長
総務部会 太田 巖	総務部会 阿部 正男
建設部会 新谷 峰三	建設部会 山口 精一
交通安全防犯部会 笹井 康三	交通安全防犯部会 田中 幸蔵
環境衛生部会 桜田 秀雄	環境衛生部会 今 貞一
福祉部会 里村 誠吉	福祉部会 齊藤 栄三郎
女性部会 横山 文枝	女性部会 葛西 房子 牧野 慶子

なお、部会長は「事業部会設置要綱」の定めにより町会連合会の副会長が当たり、副部会長は平成十四年度から常任理事（女性部会を除く）をあてることとしたものです。

町連が優良町会表彰

四月二十六日の定時総会で次の通り表彰しました。

- ◇交通事故防止優良町会 桐ノ沢町会、合浦町会、北赤坂町会、大福町町会、協和町会、曙町会、山田町町会、北金沢町会、桂木町会、片岡町会、あすなる町会
- ◇環境美化優良町会 久栗坂町会、駒込町会、あおやま町会、佃本町第一町会、相馬町町会、三和町会、新城大坂第一町会、雲谷町会、板橋町会、細越町会、油川下町町会、ひばりの町会、勝田第一町会

